

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年3月1日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の定める基準以上のスペースを確保し、児童が落ち着いて個別学習や集団活動に取り組みやすい配慮をしています。	今後も児童の特性や状況に応じた環境に心がけ、適切な定員とスペースの確保に努めます。
	2	○		法令の定める配置基準を上回る適切な人員を配置できています。	今後も配置基準を満たし、有資格者も基準以上の配置を行ってまいります。
	3	○		室内はバリアフリーとなっており、エレベーターが完備され、トイレも車椅子で利用可能になっています。	今後も児童にわかりやすく構造化に努め、手すりがないため今後設備を整えていく事も検討してまいります。
	4	○		毎日児童の退所後に、机・椅子、道具等も消毒し、清掃を徹底しています。安全な動線の確保や、活動に合わせたスペース利用で、児童に理解しやすい環境の整備に取り組み、視覚的にも分かりやすく活動しやすいよう配慮しています。	衛生環境への配慮は継続し、尚一層、児童の個性に配慮し、活動に合わせた活動空間を保つように心掛け、壁面も季節ごとに変える等工夫し、居心地の良い空間作りを続けていきます。
業務改善	5	○		定期的にミーティングや、リフレクション会議を開催し、職員間の情報交換・情報共有、振り返りを行っています。	今後も定期的に全職員で業務改善について検討してまいります。
	6	○		毎年アンケートによる評価を実施し職員全体で討議を行い改善に繋がっています。	今後も継続して、頂いたアンケートをふまえ、保護者様のご意見やご意向を把握し業務改善につなげてまいります。
	7	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	9	○		事業所内外の研修に参加し職員の質の向上に努めています。	今後も行政主催の研修等に積極的に参加し、また事業所内研修は回数を増やす検討をしております、研鑽に努めます。
適切な支援の提供	10	○		定期的にアセスメントを行い、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえた上で、客観的視点で適切に実施し、作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえた上で支援計画を作成し、児童の課題を客観的に意識しながら課題を検討してまいります。
	11	○		事業所で作成し、標準化された共通アセスメントツールを使用し、児童の適応行動状況を把握しています。	今後も継続して計画期間ごとに適切なアセスメントを行い個別支援計画を作成してまいります。
	12	○		児童発達支援ガイドラインの総則を踏まえ、保護者様のご意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しています。	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごとに、また必要であれば適宜、モニタリング、担当者会議にて見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容、個別支援計画を作成してまいります。
	13	○		個別支援会議等で計画案の内容把握を行い、個々の計画に沿った支援を行っています。	今後も継続して支援計画に沿った支援が行われるよう、都度児発管にも確認し、助言を仰ぎながらより良い支援を行ってまいります。
	14	○		活動内容は職員間で話し合い、立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画してまいります。
	15	○		児童一人ひとりの特性や興味に合わせて、手作りの教材なども使用して、楽しく過ごせるよう心掛け、プログラムが固定化されないよう工夫しています。	今後も児童が意欲的に取り組める活動内容になるよう、職員間で話し合い、工夫してまいります。
	16	○		個別支援計画の目標から、児童一人ひとりの特性に応じ、能力向上を狙う個別活動、関わりを学ぶ集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しています。	今後も適切に個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案してまいります。
	17	○		毎朝、児童が来所するまでに、必ず話し合いを行い、支援内容や役割の分担、児童の最近の様子等について情報交換を行っています。	今後も継続して、情報共有の徹底を行ってまいります。
	18	○		殆どの職員が送迎に出してしまうためその日の振り返りは難しいですが、次の日の支援開始前までに必ず話し合いを持つようにしています。	今後も継続して情報共有を行い、支援に繋がってまいります。
	19	○		支援経過記録はその日担当した職員が必ず記録を取っています。また、次の日のミーティングで動いている職員全体で記録による児童の状況を話しあっています。休みの職員は、連絡ノートを活用し、情報共有に努めています。	今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援に繋がります。
20	○		定期的にモニタリングを行い保護者様のご要望と児童の現状により計画見直しの必要性を判断しています。	今後も継続し、必要に応じて期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを検討してまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も児発管が参加し、計画や支援に活かしてまいります。
	22	○		専門機関とは連携して情報交換を行い助言を受けており、児童が併用している他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も関係機関とは積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず努めてまいります。
	23	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		関係機関とは、担当者会議等で情報提供や共有を行い、相互理解を図っています。	今後も繋がりを切らさず連絡を取り合い、情報や助言を頂きながら児童の課題に向き合ってまいります。
	26	○		担当者会議を通して情報提供・共有を行い、課題や、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	今後も関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、児童の移行先での活動に役立てて頂きたいと思っております。
	27	○		専門機関と連携し、情報交換を行い助言を受けており、児童が併用している他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も関係機関とは積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず努めてまいります。
	28	○		殆どの児童は保育園や幼稚園に通っており、個々が障がいのない子ども達との交流はできていると考えます。現時点では事業所主催の交流の機会は企画できていません。	通所を公にしたいご意向の保護者様もおられますので、ご意見をうかがいながら地域との連携や、交流を検討し、相互協力により活動の場を広げられるよう、検討してまいります。
	29	○		地域の協議会へは積極的に参加しています。	今後も研修や講義等に積極的に参加してまいります。
	30	○		その日の様子や、取り組んだ課題について、連絡帳や送迎時に保護者様にお伝えしています。また送迎時にも児童の様子をお知らせして共通理解を図っています。	今後も引き、電話での相談・送迎時（家庭連携時）・連絡帳等、あらゆる機会に情報共有を図ってまいります。
31	○		コロナ禍でもあり、今年度はペアレント・トレーニングの事業所での取り組みはできておりません。	現在も保護者様からの子育てに関するお悩みや困りごと等のご相談には丁寧に対応させて頂いて頂いておりますが、今後は事業所からも発信して、家族支援のプログラムの機会を検討していきたいと思っております。	
保護者への説明責任等	32	○		変更があった際に保護者様に安心して頂けるよう丁寧な説明を心掛けています。	引き続き、丁寧で分かりやすい説明を心掛けてまいります。
	33	○		保護者様のご意向や、児童の特性、ご家庭のご意向を踏まえ、ガイドラインに基づいて作成した支援計画は分かりやすい言葉での説明を心掛け、保護者様の同意を得ています。	今後も同様に意向や児童の状況に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	34	○		送迎時や、お問い合わせ頂いた時には家庭訪問を行う等をして丁寧に相談を受け、アドバイスを行うなど支援を行っています。	今後も保護者様が気軽に相談しやすい雰囲気、話しやすい環境作りを努め、必要な助言や支援に努めます。
	35	○		感染症予防の観点から、本年度は、父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	コロナ収束後に、保護者様のご意向に配慮し、保護者様同士や、職員と交流機会を検討してまいります。
	36	○		苦情窓口と責任者を配置、ご意見箱の設置も行っていきます。苦情があった場合、職員間で話し合い解決に向けて迅速な対応を心掛けています。	今後ご意見には出来るだけ迅速な対応で早期解決に努めてまいります。
	37	○		公式 Web サイトのブログは事業所の活動を隔月でご紹介し、ブログの更新は毎日 LINE 公式アカウントでお伝えしています。季節ごとに「COMPASS だより」を発行しています。事業所独自の予定は、毎月連絡帳のカレンダーにてお知らせしています。	今後も継続して情報発信を行い、より多くの保護者様に事業所の活動内容を知って頂けるよう努めてまいります。
	38	○		個人情報記載された使用後の書類の廃棄にはシュレッダーを利用し、個人情報ファイルは鍵付きのキャビネットにて保管管理しています。写真掲載も含め、個人情報に関することは保護者様へ契約時にご説明を行い、同意を得ています。職員には入社時に秘密保持誓約書を交わし細心の注意を払っています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行ってまいります。
	39	○		児童には、絵カードやスケジュール表等を活用し、視覚的なアプローチを行う等、児童の特性や状況に合わせて十分に配慮した情報伝達を行っています。また保護者様に専門用語を使わず丁寧に分かりやすく伝えるよう心掛けています。	今後も継続して、個々の特性を考慮しながら、情報伝達や意思疎通に配慮してまいります。
	40	○		今年度は地域住民をご招待する企画を行うまでに至りませんでした。	今後は、保護者様のご意向をうかがいながら地域の方も参加して頂けるような企画を検討してまいります。
	41	○		事業所内に各種マニュアルや対策を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	保護者様への周知が徹底されるよう、掲示場所を再度ご案内し、訓練実施の際には、今後保護者様への事前連絡を行ってまいります。
非常時等の対応	42	○		年度初めに年間計画を立て、定期的に避難訓練を行っています。	今後も定期的に訓練を実施し、今後は児童や保護者様にも参加して体験して頂けるよう検討してまいります。
	43	○		アセスメントにて保護者様に服薬やてんかん発作等の状況確認は詳細に行い、服薬の変更等には十分注意し、保護者様に確認を受けては随時確認しています。情報は全職員が把握し、緊急事態には迅速・適切で、最善の対応が行えるよう図っています。	事前の情報収集と職員への周知徹底、かつ定期的な振り返りを今後も行ってまいります。
	44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされています。	医師の指示書については揃っていない児童のケースもありますが、保護者様の情報を元に、おやつ等の提供を行う際にも食物によるアレルギー発作を防止して起こすことのないよう、細心の注意を払って、慎重に対応してまいります。
	45	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイルで保管し、前例を閲覧し、再発防止に努めています。	今後も記録を徹底し、情報共有と認識一致のうえ、再発防止に向け、業務中にも職員同士声を掛け合い、都度振り返りを心掛けてまいります。
	46	○		外部の研修にも参加し、事業所内においても毎年一回は虐待研修を行い、共通理解を行っています。	今後とも社内外への虐待防止研修や、討議を続けてまいります。
	47	○		事業所の利用契約書には原則として身体拘束の禁止を記載しています。ただし生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	今後も、原則として身体拘束を避ける基本姿勢を守り、緊急時（命に関わる事象が起きた場合、他に手段がない止むを得ない状況の場合）に限ることを十分説明し、同意を得て個別支援計画にも記載をして、適切な対応を行ってまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。